

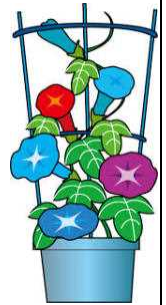


教育活動が再開されて

【校長 太田 謙二】

1年生の子が、「私のアサガオに花が咲いた」と、2年生の子が、ミニトマトに実がなって、「校長先生、実が〇〇個できて」と、うれしそうに教えてくれています。学校では、6月1日から教育活動が再開され、15日からは通常授業になり、給食も全学年で始まりました。やっと学校で子供たちの元気な姿が見られるようになりました。

でも、まだまだ安心することはできません。「新しい生活様式」に示されているように、毎日の健康チェック、マスクの着用、石鹸での丁寧な手洗い。3密の回避や換気。給食も今は、担任や給食当番さんが手指消毒をし、みんなの分の給食を配膳しています。これまでの学校生活とは違い、いろいろなことに注意しながら生活していくことが必要です。



今回は、教育活動が再開されてから約1か月が経った、子供たちの様子を少しお伝えしたいと思います。子供たちの様子でうれしいことがたくさんありますが、その中の一つ、子供たちの休み時間の過ごし方についてです。

暑い中「こんなにも！」と驚くぐらい、休み時間にたくさんの子が運動場へ出て元気に遊んでいて、どの学年も男子と女子の仲がよいです。そして、教職員が声をかけなくても、みんな休憩終わりのチャイムが鳴る5分ぐらい前に教室へ戻り始め、手洗いやトイレをすませて、チャイムとともに授業が始められています。ON・OFFの切り替えがしっかりできるって、すごいと思っています。



もう一つは登下校中、「歩道を歩く」や「信号が点滅しだすと横断しない」など、当たり前のことですが、きまりを守ろうとしていることです。校区内は交通量が多く、危険な箇所がいくつかあります。そこには、いつも見守り隊の方々が立って、温かく見守っていただいております。大変ありがたいと思っています。これからも児童が、自ら意識してより安心安全に登下校できるよう、引き続き指導してまいります。保護者の皆様、地域の皆様、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

